

		の町場に1時間で到達する等のデータが大事である。阿武隈川は、伊達市から3時間弱で丸森町にくる等のデータがある。支流のデータについても今後の防災では考える必要がある。	まえ対応することは大切なことではありますが、同じ条件下での災害はありませんので最新の防災気象情報や避難情報をもとに早めの避難行動等を行うことが大切であると考えます。	
3	水沼智恵委員	(1)このような膨大な資料の作成に感謝する。災害を自分が体験するとは思わなかった。土砂が流れてきて自宅に近い所まで来たが皆様のような被害が無く、被災された方のお手伝いをした。 (2)子ども達も災害の怖さを体験した。語り継ぐ事も大切で、未来に向けた資料もある。これを子ども達にも発信して欲しい。加えて丸森の魅力、新たなまちづくりも発信して欲しい。	(1)(御意見等として承る。) (2)「次代につなぐ新たなまちづくりマップ」は、毎年更新していく予定であり、内容の充実、分かり易さも含め検討いたします。丸森の魅力の発信も効果的な方法を検討いたします。引き続き親の目線、子どもの目線からの御意見を頂戴したいと思います。	(2)復興対策室
4	酒井章弘委員	(1)私は、筆甫の上の方に住んでおりそれほどの被害が無かったが、県道丸森霊山線が不通になり大変困ったが、先般開通したこと大変有難く感謝する。 (2)これからの災害は、何があるか分からない。自分は、消防団でもある。できる限りのことをしたい。	(1)(御意見等として承る。) (2)(御意見等として承る。)	
5	滝野正浩委員	(1)大内は、雉子尾川が流れており常に越水を心配している。補強工事をしていただいているが、大雨の度に土砂が川底に溜まり浅くなるのではと心配している。 (2)私は、舟下りの船頭をしているが、阿武隈川も土砂が溜まり、同様に川底が浅くなった、浅瀬が大きくなったと感じるため土砂撤去が必要と感じている。来客者に実情を知っていただく事もあり、皆様のお蔭様で少しずつ復旧した話もしている。住みよい丸森町になって欲しいと思う。	(1)県では、大規模特定河川事業により、堤防の整備を進めていますが、併せて河道掘削事業を実施する予定としております。 (2)阿武隈ライン舟下りについては、今年度からあぶくま駅コースが再開され、また、新たな取り組みとして、「ナイトリバークルーズ」がスタートしました。今後とも観光船事業を安全かつ安心して継続していくためには河川の浚渫工事は必要であることは理解しており、町としても機会を捉えて関係機関等へ要望して参ります。	(1)建設課 (2)商工観光課
6	早川真理委員	(1)大内佐野地区で被災した。再任となったので、委員として、また被災者として、今後の丸森町も見据え使命感をもってやらせていただく。	(1)(御意見等として承る。)	

		(2)家の近くの橋の復旧後の写真が掲載されているが、全体としては、まだまだこれからと感じた。今後もまた大雨で被災する可能性もある。何が起こるか分からないという意識を持ち続けたい。	(2)(御意見等として承る。)	
7	天野理恵委員	(1)復旧・復興の力強さを感じた。資料を読むのがやっとだが、これから意識を高くもって勉強していきたい。 (2)災害時に小斎まちづくりセンターで勤務しており一部行政区に大変な被害があり避難者と生活を共にした経験がある。 (3)毎年10月になると災害がなくて良かったなと思っている。計画上完成予定が記載されているが、計画中に起こる様々な災害も想定しながら復旧する実情があると思った。	(1)(御意見等として承る。) (2)(御意見等として承る。) (3)(御意見等として承る。)	
8	石塚恵美委員	(1)嫁いで10年たって丸森町が大好きな町になった。館矢間地区は、比較的被災が少なかったが、町全域の被災を知り衝撃を受けた。 (2)生まれが丸森ではなく違う目線で見ることができる。もっと丸森町全体が皆で一体となり復興活動が出来ればと思っている。 (3)車両避難が出来る場所を公園等に準備できないか検討している。 (4)館矢間は、小学校と地域が防災活動を積極的に実施しており、もっと小学生から高校生まだが、この計画に対し、関わる機会があれば良いと思うし、小学校が実施している伝承活動を発信していただけると良い。	(1)(御意見等として承る。) (2)(御意見等として承る。) (3)(御意見等として承る。) (4)3-(2)の回答内容に加え、作成方法・発信方法等の部分でも工夫して参ります。	(4)復興対策室
9	佐藤多恵委員	(欠席)		
10	谷津利明委員	(1)住民自治組織としては、コロナウイルスの関係で防災訓練のような事業が実施し難い状況があった。 (2)耕野地区は、地震に強いが雨に弱い地区と認識している。国道349号の別線ルート整備が目に見えて来ている。復旧・復興の関係者は、重圧の中で業務を実施していると思う。感謝申し上げます。 (3)川の近くの農地復旧については、業者による整地後も土中に石が多いと感じている。	(1)(御意見等として承る。) (2)(御意見等として承る。) (3)石等が混ざらないよう指示しておりますが、現実には小さな石が混じってしまう場合がございます。	(3)災害復旧対策室

11	佐藤克朗委員	<p>(1)復興フライトとして約 200 名に気球に搭乗いただいた。上空から新川等が見えた。室長の説明を聞いても、ハード面では大分進んだと感じた。関係者の努力に敬意を表したい。</p> <p>(2)ソフト面では、被災者支援の分野で、再建率7割という数値である。我々社協になるが丸森町地域支え合いセンターを中心に引き続き支援を続ける。</p> <p>(3)説明中、避難生活の中で精神的不安定者の割合が増加傾向という話があった。実感としては多くの方が生活再建に向け前向きに頑張っていると考えている。</p> <p>(4)こども園の入所率が 100%との話があったが、入所者数は、災害以降減っており、昨年と今年の 10 月現在のこども園の入所者が比較して 30 名ほど減少している。次代につなぐためには次代の受け手が必要である。</p> <p>(5)復旧・復興計画は、概ね順調と捉えている。実施計画書の様式変更は、情報量も増え分かり易くなったと思う。今後も進捗の把握に努めて欲しい。</p>	<p>(1)(御意見等として承る。)</p> <p>(2)(御意見等として承る。)</p> <p>(3)多くの方が前向きに努力されているものと承知していますが、避難生活が長期化するに伴い、精神的に不安定になる場合などもあるようです。引き続き相談等の体制を整え、生活再建に向けて支援して参ります。</p> <p>(4)少子化対策は、町全体で取り組んでいかなければならない課題であり、子育て世代が安心して生み育てられるよう引き続き子育て支援に取り組み、次代を担う子どもたちの健やかな成長を支援して参ります。</p> <p>(5)計画終了年に事業が完遂するよう引き続き努力して参ります。計画書は、更に見やすい様式となるよう今後も検討を続けて参ります。</p>	<p>(3)保健福祉課</p> <p>(4)子育て定住推進課</p> <p>(5)復興対策室</p>
12	白木寛一委員	<p>(1)町内の中小事業者の復興は、道半ばと感じている。一日も早く災害前の事業状況に戻るようお願いする。</p> <p>(2)現在、金山地区に予定されている工業団地の早期完成、工場誘致が果たせるようお願いする。</p> <p>(3)河川防災ステーション等の完成後には、観光面での活用、観光振興に繋がるようお願いする。</p>	<p>(1)町内の中小事業者においては、台風による被災に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響が大きく、これまで様々な支援策を講じてきたところです。今後とも地域経済の活性化に向け、必要な支援策を検討して参ります。</p> <p>(2)新たな工場団地については、本年 6 月から造成工事に着手しており、令和 5 年度末に完成予定です。完成後、速やかに工場が立地されるよう、積極的かつ効果的な誘致活動を行なって参ります。</p> <p>(3)本年 7 月に河川防災ステーション利活用検討部会が設置され、災害時の水防拠点施設としての利用のみならず、賑わいの創出や周辺環境の整備なども含めた平常時の利活用方についても検討しております。</p>	<p>(1)商工観光課</p> <p>(2)商工観光課</p> <p>(3)商工観光課</p>

13	阿部喜知委員	<p>(1)復旧・復興については、JAとしても担当を設置し、専門官をはじめ町担当者を介しながら取り組んでおり感謝申し上げます。</p> <p>(2)今後、復旧の遅れによる未耕作地等が課題と思っており農家の生産意欲の減退につながる恐れがある。魅力ある農業の再建に向けて皆さんの御指導・御協力をお願いしたい。</p> <p>(3)魅力ある農業の再興の中で農地、農業施設の復旧について計画年度内の完了を目指すものだが、未着工の部分もあるようなので、農地（田畑、草地）について未着工部分の進捗状況を教えて欲しい。</p>	<p>(1)(御意見等として承る。)</p> <p>(2)(御意見等として承る。)</p> <p>(3)未だに未着工の部分もあります。令和4年9月末時点の完了率は、2割弱となっておりますが、全体の完了は令和5年度末を目標に工事を進めてまいります。</p>	(3)災害復旧対策室
14	作間淳一委員	(欠席)		
15	佐野昭一委員	<p>(1)消防団でお世話になっている。思うように実施できない訓練も災害に備え実施した。</p> <p>(2)家の裏の護岸が洗堀され被災した。坂道でもあり路面排水が不十分で敷地内に水が入ってくる。今後の大雨も視野に入れた復旧が出来なかったか、不満を感じている。</p> <p>(3)常に現場の視点で修復して欲しい。後で確認するという事について進まない事がある。前に職員に見ていただいて直してもらった部分には感謝するが駄目な場合は又直すという話があったと思う。</p>	<p>(1)(御意見等として承る。)</p> <p>(2)河川災害復旧工事には制約があります。現場は土手を高くすることで対応しております。県道の路面排水については、大河原土木事務所へ伝えます。</p> <p>(3)小規模な修繕要望についても、今後も現場の視点で修復するよう対応していきます。</p>	(2)(3)建設課 災害復旧対策室
16	伊藤淳委員	<p>(1)観光的な視点では、人の流れが見え始め、海外からの観光客も見え始めた。</p> <p>(2)防災教育(伝承)の面では、大変だった事は資料で伝わるが、こうしたら良かったという部分も経験をお持ちの方がシェアしていただくと貢献できると思った。</p>	<p>(1)(御意見等として承る。)</p> <p>(2)町は、令和元年東日本台風の教訓を次世代に伝えるため災害記録誌を作成しております。また、住民や支援者による災害の展示会(山つなみ、雨間の語り)等の記録や記憶を風化させない取り組みについても応援して参ります。住民や支援者の中には貴重な経験と御知見をお持ちの方々がおりますので災害の語り部として今後も御協力・御支援をいただけるようお願いして参ります。</p>	(2)総務課

17	佐藤俊明委員	<p>(1)丸森駅近くのガソリンスタンド近く住んでおり、災害当日の夜に避難したが、避難者が少なく驚いた。浸水の恐れがあるため館矢間まちづくりセンターから館矢間小学校に移ったが、その時、車の水没を覚悟した。消防団にも属しており避難者を誘導等した。</p> <p>(2)河川防災ステーションは、川に近い事で増水時に大丈夫かという心配と、駐車場に関し町民の避難が増えた場合足りるのかという心配がある。</p>	<p>(1)(御意見等として承る。)</p> <p>(2)河川防災ステーションは、緊急輸送道路である国道 113 号と同程度の高さに造成（盛土）しますので阿武隈川の最大浸水においても有効な施設です（細部は丸森町防災マップでご確認ください。）。なお、同施設は指定緊急避難場所として一時的に人や車が避難することを想定しておりますが、町にはその他にも指定緊急避難場所や指定避難所がありますので最寄りの避難場所等を確認してください。</p>	(2)総務課
18	上村文子委員	<p>(1)説明を伺うとハード面が多かったという感想である。まずは自分の命を守る事が一番重要である。マイタイムラインに関する周知をしても自分事と捉えていない方もいると思うので避難場所も含め浸透するような方策をお願いする。</p> <p>(2)プレハブ仮設住宅での集会所のイベントとして月に2、3回訪問している。チラシで周知するが、来てくださる方は、30名中5、6名の参加であり、なるべく1人で籠らない方策を考えるようお願いする。</p>	<p>(1)災害にはハード・ソフトの両面から対策を行うことが大切です。地域における災害リスクを確認し事前に避難ルートや避難場所を定めておくことが大切であり各行政区では地区防災マップの作成し現在約54%作成しました。今後はどの状況でどう行動するかを計画したマイタイムライン（災害時行動計画）についての作成も進めて参ります。</p> <p>(2)今後は、新たな再建先でのコミュニティへの参加が大変重要であるので、仮設内イベントのみならず住民自治組織等の事業への参加も呼びかけながら個々にあった支援を継続して参ります。</p>	(1)総務課 (2)復興対策室
19	柴山明寛委員 (副委員長)	<p>(1)皆様の思い有難い。まず、令和3年度は、コロナウイルスの問題で進んでいない事業があるという事だが、もうコロナウイルスを理由にできない時期であるので令和4年度以降は、そのような中であっても工夫して進捗させるようお願いする。</p> <p>(2)為替の問題で燃料・材料の高騰がある。執行できていない予算もあると思うが更に予算が増加するのか精査をしっかりと</p>	<p>(1)(2)ハード事業、ソフト事業にかかわらず、計画の中で進捗率の低い項目については、全庁的に課題と捉え、その解決に向けて考えて参ります。それぞれ計画期間内での事業の完遂に向け、全力で取り組んで参ります。</p>	(1)(2)復興対策室

		<p>ていく必要がある。</p> <p>(3)被災者支援に関し、被災者の定義をしっかり捉えて欲しい。被災者台帳に掲載されている方のみでなく丸森町全域が被災したものであり誰一人取り残さないようしっかりやっています欲しい。</p>	<p>(3)当然、町内全域が被災しており全員が被災者と捉えた事業を実施しています。このことを常に意識して取り組んで参ります。</p>	<p>(3)復興対策室</p>
20	大槻康浩委員 (委員長)	<p>(1)私も同様の意見で、コロナウイルスの関係で多くの事業が進んでいないが、そのような中であっても工夫して実施するべきと考える。</p> <p>(2)資料について、大変素晴らしい資料ではあるが、これを子ども達に分かるように伝えることも必要である。例えば映像を利用する等の工夫も検討して欲しい。</p>	<p>(1)19-(1)(2)のとおり</p> <p>(2)資料の分かり易さも含め、子ども達への伝承に関する御意見が別の委員からも複数(3-(2)、8-(4)、11-(4))ありました。次代につなぐという意味でも重要なキーワードをいただいと感じており、十分に精査して行きたいと思えます。</p>	<p>(1)(2)復興対策室</p>